第3学年3・4組女子 保健体育科 学習指導案

指導者 山本 佳子

1 単元 球技「ネット型（バレーボール）」

2 単元について

(1) バレーボールは、ネットをはさんで相対する2チームがボールを打ち合うなかで、サービスやスパイクなどの技能を生かして相手のミスを誘ったり、作戦的に攻めたりして勝敗を競い合うところに楽しさや喜びを味わうことができるスポーツである。また、ラリーが長く続いたときやサービスが成功したとき、チームで協力しあえたときはより一層の楽しさや満足感を得ることができる。このように、バレーボールは施設や人数、ルール工夫をすることによって老若男女にとらわれることなく、だれもが気軽に楽しめるスポーツである。生涯スポーツの視点やよりよい人間関係づくりの点においても適した題材であるといえる。

(2) 本学級の生徒は保健体育への関心が高い生徒が多く、毎時間の授業に積極的に取り組んでいる。バレーボールの授業は1年生から学習しており、3年生でのバレーボールの授業を楽しみに感じている生徒が全体の71%であった。以下、学習前の実態調査の結果を示す。

○ ボールに対する恐怖心

ない37% どちらかと言えない26% どちらかと言えばある34% ある3%

○ 3年生でのバレーボールの授業でやってみたいこと

- ・本格的なバレーボールをしたい、強くなりたい（恐怖心のない生徒）
- ・チームの役に立ちたい、スパイクを決めたい（どちらかと言えば恐怖心のない生徒）
- ・自分で点を取りたい、ゲームをたくさんしたい（どちらかと言えば恐怖心のある生徒）
- ・ボールをたくさん触りたい、スパイクをしたい（恐怖心のある生徒）

○ 東京オリンピック・パラリンピックへの関心

する1% みる97% 支える37% 知る63%

(3) 以上のような実態をもとに、本単元の指導に当たっては次の点に留意したい。

① 授業を振り返る時間を確保し、「分かったこと」や「疑問に思うこと」そして「仲間とのつながり」を意識させるようにさせる。また、振り返りカードに自由に記述できるスペースを設け、個人的な不安や疑問を解決できるようにさせる。

② 学ぶ喜びを味わわせるために、6人班やペアで学び合う場を設定する。さらに、コミュニケーションボードや付箋などを活用し、気軽に意見を言える雰囲気や積極的に学びに向かう人間関係づくりをさせる。

③ 生徒の技能向上を図ることができるように、十分な活動時間を確保する。

3 学習指導目標

(1) 友だちの感情に配慮しながら発言したり、他の発言に同意したりして話し合いを進めることができるようにさせる。

(2) 体力や技能の程度等に応じて、自己の課題設定と解決を目指すとともに、チームとして作戦に応じた技能で仲間と連携してゲームを展開できるようにさせる。

(3) 自己の役割に責任を持って、自主的に取り組む態度を育成する。

4 学習指導計画・・・・・・・・・・・・・・・・10時間（総配当時間）

(1) オリエンテーション・実態調査・グループ分け・・・1時間

(2) 簡易ゲーム

個人技能（オーバーハント^oパス・アンダーハント^oパス・サービス・スパイク）・・・2時間

(3) 試しのゲーム

集団技能（ポジショニング・攻撃パターン・作戦）・・・4時間（本時1／4時間）

(4) リーグ戦・・・3時間

5 本時の学習指導

(1) 主 題 バレーボール

(2) 目 標

知識・技能	思考力・表現力
それぞれのポジションに特徴があることを理解できる。	場所や道具、ルールの工夫することで誰もがスポーツを楽しめることを実感することができる。

(3) 本時の工夫点

<ul style="list-style-type: none"> ○ 付箋やコミュニケーションボードを活用して、ペアや班での話し合いを活性化させる。 ○ 卓球バレーを通して、ポジショニングの必要性に気づかせる。 ○ 振り返りカードを活用して、学んだ生徒と分かったことを書くように促す。

(4) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	教師の支援活動や留意点	形態
1 ルールに沿って卓球バレーをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 卓球場でバレーができることに触れ、興味を持たせる。 ○ いろいろなポジションを体験させるためにローテーションを取り入れる。 	6人班 (一斉)
2 学習課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 卓球バレーをしての感想を聞き、学習課題を提示する。 	6人班 (一斉)
共有課題 ポジションごとに特徴はあるのだろうか		
3 学習課題についての予想をする。 (1) ペアで予想する。 (2) 班で意見をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的なポジションの特徴をペアで話し合い、思いつくことをどんどん付箋に書くようにさせる。 ○ 予想できないペアには、返球されたボールの速さやどのようなプレイが良かったかを振り返らせて、特徴に気づかせる。 ○ コミュニケーションボードに付箋を貼り、班で意見をまとめさせる。 ○ 意見をまとめる際には、根拠も同時に考えさせる。 	ペア 6人班
評価【知識・技能 (コミュニケーションボード)】 ポジションごとに特徴があることを理解できる。		
4 ジャンプ課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポジションごとに特徴があることを全体で再度確認し、ジャンプ課題を提示する。 	6人班 (一斉)
ジャンプ課題 個々の特性に合わせたポジショニングでゲームを楽しもう		
5 チームで作戦を立て、ゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 班で個々の特性に合わせたポジションを決め、ゲームをさせる。 	6人班
6 本時の授業についてまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 勝ったチームに作戦や工夫したことを発表させる。 ○ 本時の授業で分かったことや疑問に感じたこと、助けてくれた人などを振り返り、まとめる。 	6人班 (個人)
評価【思考力・表現力 (振り返りカード)】 場所や道具、ルールの工夫で誰もがスポーツを楽しむことに気づくことができる。		
ポジションごとに特徴があり、作戦の1つとして活用することができる。また、場所や道具、ルールなどを工夫することで誰もがスポーツを楽しむことができる。		